

議事録

会議名称	長野県図書館協会・長野県図書館大会のあり方検討チーム 第1回ミーティング		
開催日時	令和6年(2024年)12月26日 10:00~12:15	開催場所/ 方式	参集(県立長野図書館3階研修室) + WEB会議
出席者 (敬称略)	長野県図書館協会伊東会長、林副会長、依田副会長、森理事長(県立長野図書館長)、林小中学校図書館部会長、牧野優子(公募 飯田西中)、棟田聖子(公募 松川村図書館長)、文平玲子(公募 市立須坂図書館長)、米山美保(公募 長野市立松ヶ丘小) (以上、参集) 瀬下公共図書館部会長、武田佳代(大学図書館部会長指名 信州大)、原猛(長野県高等学校図書館協議会事務局長指名 赤穂高)、倉澤啓(小中学校図書館部会長指名 木曾町立三岳小)、田中誠(県教委学びの改革支援課)、小澤多美子(県教委生涯学習課) (以上、オンライン)		
ゴール(目的)	● チームのミッション、当面の作業及びスケジュールについて認識共有		
アジェンダ	① 自己紹介 ② チームのミッション確認 ③ アンケート項目(=当チーム検討事項)の検討 ④ 次回ミーティング 日程調整(年度内開催予定)		

決定事項/To do	
■決定事項	● チームのミッション、当面の作業及びスケジュールについて資料に沿って確認
■To do	● アンケートは、原案に一部修正を加えた後、令和7年1月早々にも発送 ● 次回ミーティングを令和7年3月に実施

1 開会

2 自己紹介

3 討議

(伊東会長趣旨説明)

- ・ 図書館大会は、コロナ禍で毎年様子が変化(外出自粛→オンライン→現地開催へ移行)
- ・ オンライン開催のようなプラス要素が生まれた一方で、大会がそもそも抱えてきた課題(組織面)及びオンライン開催に要する費用面など新たな課題も発生。
- ・ 長野県の大会は館種を超えて開催するという伝統的な流れがある。それを大切にしつつ、協会のあり方も含めて検討する必要があるという指摘。
- ・ 本チームのファーストミッションは大会の基本線の決定か。議論のなかで、協会のあり方についても触れることになろう。

(森理事長からゴールの説明)

- ・ 委員の任期は3年。1年目(R6)は、実態把握のためアンケート(今までの認識+今後どうありたいか)を実施。2年目(R7)は6月の総会で経過を報告し、方向性を承認いただき、

議事録

以降、指針改訂や大会マニュアル作成などに進んでいきたい。諏訪大会の企画運営で活用してもらえるタイミングを目指したい。

- ・ 企画運営委員会と実行委員会の役割分担の不明瞭が以前からの課題。これも検討の範疇。

(チームメンバーからの意見等)

- ・ スライド4枚目、チームミッションについて、守備範囲、ゴールについては理解するものの、協会のあり方のゴールとして記載されている『指針』の改訂は、協会における「指針」の役割・位置づけ・目的をまず検討してからにすべきではないか。
 - ⇒ 今後の議論で、ゴール(結果の出し方)も改めて考えていく。「指針」の改訂は結果の出し方の一つの案。新しく(何かを)つくるのか、も含め議論。
- ・ 図書館大会を開催した経験から言うと、大会の骨格がしっかりできていることにより、次に開催する人たちも安心できる。協会からのサポートが受けられることが大事。それらは「指針」に反映されるのか?協会の中での大会の位置づけの明記を希望。
 - ⇒ 現在、公にされている協会の方針は、リーフレット「あなたのまちと学校の図書館づくり応援します」と「指針」に示されている。これらへの反映でよいのでは。
 - ⇒ 全体的な大方針は「指針」へ、具体的な図書館大会のノウハウは「大会運営マニュアル(仮称)」へ、それぞれ書くことになろうか。今後の議論による。
- ・ H24「指針」作成された際にはアンケートはなかったと記憶される。今回アンケートをとって「指針」作成することはよいこと。
- ・ 諏訪大会に反映させるということだが、今の計画で間に合うのか。
 - ⇒ マニュアルの作成は一つのゴールだが、イコール、スタートでもある。マニュアルがなくてもできる部分は始めていければよい。同時並行か。
 - ⇒ 諏訪大会を安心して開催するために、本チームで大きな方向性を出したい。あとは企画運営委員会のタイミング。企画内容を企画運営委員会に諮って決定するのが遅い、というのが引き継がれている。要検討。
- ・ 図書館大会の企画運営委員会は決定機関と理解。図書館大会実行委員会組織立ち上げ時から図書館協会には並走、伴走をやってほしい。
 - ⇒ 企画運営委員会が最終的な決定機関ではあるが、小回りはききにくい。「協会事務局が大方針に沿いつつある程度裁量を持って、実行委員会に伴走できる」ということが共通理解になれば、お互いに動きやすくなるだろう。
- ・ アンケートでは、開催地区の持ち回りのあり方についても聞きたい。単に持ち回り地区(支部)を集約する、というよりは、負担感をなくすための組合せを聞きたい。
- ・ 課題を見つけるためのアンケートなので、1回で全ては聞ききれないのでは。
- ・ 学校図書館、図書館自体を良くしたい、というのはこのグループの範囲を超えるだろう。
- ・ アンケートを今後どう活用していくかについても、アンケート展開の際に説明すべき。
- ・ アンケートに回答する側の事情を踏まえ、アンケートがスムーズに展開されるよう、通知の発出方法等については事務局で配慮してほしい。

4 次回日程

3月上旬～中旬を目途に開催予定

5 閉会

(了)